

第 206 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 4 年 8 月 22 日（月） 13：30～14：37

場 所：浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者：岡田教育長 宇津委員 花田委員 杉野本委員 岡山委員

事務局 森脇部長（欠席） 猪木迫担当部長 草刈課長 松山担当課長

山口課長（欠席） 永田担当課長 鳥居室長 田中課長

書記：日ノ原係長 川村主任主事

新型コロナウイルス感染防止に伴う出席者の調整のため、議題、報告資料のなかった邊担当部長、木屋担当課長、濱見室長、岩崎分室長、細川分室長、上原分室長、石原分室長は、欠席。

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 令和 4 年度教育委員会学校訪問（幼稚園）について（資料 1）
- (2) 浜田市幼児教育センター条例について（資料 2）
- (3) 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について（資料 3）
- (4) 浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について（資料 4）
- (5) 浜田市社会教育委員の選任について（資料 5）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

8 月であるが、本当に記録的な暑さで、東北や北陸地方では数十年に一度といったような大雨が降った。幸い、浜田市では大きな被害は出なかったが、毎年のように全国のどこかで豪雨災害が起きている。その要因ともされている地球温暖化にブレーキをかけるカーボンゼロの取組はもちろんだが、学校でも環境問題を意識した持続可能な開発のための教育を一層進めていかなければならないと強く感じている。

また、夏休み中に市内の中学 1 年生の生徒が、不慮の事故で逝去されるという非常に悲しい出来事があった。ご家族の方には、謹んでお悔やみ申し上げたいと思う。ショックを受けている生徒

の心のケアや学校サポートのために、教育委員会もスクールカウンセラーを配置する等の対応を行っている。

さて、夏休みも終わりに近づき、今年度は始業式を25日に前倒しをして、2学期が始まる。コロナウイルス感染による休校措置の可能性を考えて、今後の学校活動に余裕を持たせたスケジュールとしている。第7波が収束に向かっているとは言い難い中で不安はあるが、感染対策をしっかり行い、学校活動を再開させていただきたいと思う。

それでは、お手元の資料に基づいて報告させていただきたいと思う。

① 7月28日（木）浜田市共同学校事務室検討会議（三階小）

これは学校事務の共同処理や総合点検等により、円滑な業務改善や教職員の働き方改革に繋げていくための連携会議である。

② 8月2日（火）市長表敬（石見エスプリFC・フットサル全国大会出場）

市長表敬に同席をさせていただき、石見エスプリフットボールクラブがフットサルの全国大会に出場するというところで報告を受けている。

③ 8月4日（木）総務文教委員会

この日は令和4年度の全国学力学習状況調査結果の概要を報告させていただいている。学力については、まだまだ国や県との差はあるが、中学校で改善傾向が見受けられる。

そして、全国の傾向と同様であるが、小中学校ともに理数教科に課題があるというような結果であった。また後ほど述べるが、このための臨時校長会等の開催をしている。

④ 8月5日（金）浜田高校甲子園出場応援クラウドファンディング開始（～8月31日）

浜田高校の硬式野球部の甲子園出場を応援するため、ふるさと寄附型のクラウドファンディングを開始した。目標額が1,000万円ということで、8月末までの期間を設定している。現時点で241万円の寄附をいただいている。

⑤ 8月15日（月）閉園幼稚園開放事業見学（石見、長浜、美川）

統合によって今年度で閉園する幼稚園3園の園舎の開放事業に、私も参加をしてきた。これまでの記念写真等も掲げられていて、卒園生の方にとっては、思い出を思い起こすための記

念日になったのではないかと考えている。

⑥ 8月17日（水）臨時市議会・全員協議会

臨時市議会が開催された。これは、コロナウイルス感染症対策の補正予算を可決いただき、教育委員会関係では物価高騰による給食費の値上げ抑制のため、学校給食会等への食材費の支援として1,940万円を支出することについて、可決をいただいている。

⑦ 8月17日（水）市長表敬（中体連全国大会出場：一中ソフトテニス、体操、三中柔道）

第一中学校のソフトテニス部、体操部、それから第三中学校の柔道部が中体連の全国大会に出場すると報告を受けている。

⑧ 8月17日（水）市長表敬（浜田 JAS・小学校陸上全国大会出場）

また、浜田陸上教室の小学生2名が、全国大会の日清食品カップに出場している。この結果は今朝、私もいただいたが、三隅小学校の新田朋華さんは、走り幅跳びとジャベリックスローという競技に出場され、全国で第4位という素晴らしい成績を収められた。

もう1名の旭小学校6年生の竹村比呂さんは、80メートルハーフと走り高跳びに出場され、41位という成績を残されている。

⑨ 8月18日（木）臨時校長会（原井小）

先ほど申し上げたが、全国学力テスト・学習状況調査の結果を受けて、課題の整理や今後の対策等の情報交換を行っている。

これまで学校ごとに分析が行われてきた経緯はあるが、なかなか校長会の場で教育委員会も入って、議論をしっかりとやっているということ最近ではあまりなかったと思い、もう一度改めて現状を振り返る良い機会になったと考えている。

⑩ 8月20日（土）浜田郷土資料館見学会

浜田郷土資料館の見学会とあるが、7月上旬から市内のまちづくりセンター単位で見学会を開催している。

この日は広く希望者を募って、フリーの見学会を開催したものである。歴史や文化の展示だけではなく、施設の老朽化や収蔵の状況等も見てください、多くの参加者の方から、このままではいけないのではないかとのご意見をいただいているところである。

⑪ 8月20日（土）再発見！浜田の宝と浜田の魅力（主催：グローバル浜田）

同じく20日に、民間のグローバル浜田の主催で「再発見！浜田の宝と浜田の魅力」ということで、神英雄さんによる市民公開講座が開催された。浜田市教育委員会も後援をしており、この機会に教職員の研修会も兼ねたいということで、開催をしている。

20日は、世界初の缶コーヒーを開発した三浦義武さんの話をされ、この浜田が缶コーヒーの発祥の地ということは多くの方は知っておられると思うが、さらに色々な話を膨らませていただいて、ふるさと教育に繋がる講演会の内容であったと思っている。

さて、2学期がいよいよ今週から始まるが、この始まりと並行して9月1日からは、市議会9月の定例会も始まる。今週から市議会に向けての準備もしっかり行いながら臨んでいきたいと思っている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

宇津委員

2点ほど、お聞きしたい。1点目は、臨時の校長会が開かれているが、臨時ということは通常の定例のものではなく、何か不測の事態と普通は捉えるが、臨時校長会が開かれるということに対して、校長先生方の最初の受け止めというか、後で詳しく説明がなされると思うが、本当に危機感を持って臨んでおられたのだろうか。その辺りの最初の感触はどうだったのか。これが1点。

それからもう1点は、浜田郷土資料館の見学会が開催されているが、ここで様々な展示の状況や施設の老朽化等を見られて、色々な感想を持たれたと思う。どういう感想を持たれたのか。これからの希望を持たれたのかというところが、何らかのかたちで、おさえてあるのではないかと思う。それをどうこれからの施策に活かしていくのか、その辺りも併せて説明をいただきたい。

岡田教育長

はい。

臨時校長会については、8月は夏休みであるため、実は定例の校長会がない月であった。ちょうどこのタイミングで学力調査結果が出て、分析に各学校が入っているところであった。

今回、教育委員会の方で、それに先んじて浜田市全体の傾向等を学力向上推進室長を中心に分析をしていただき、その中で少し

懸念材料があるということで、これは校長会と共有したいということを経理会会長にお話をさせていただき、臨時校長会を開いていただいている。

学力向上とは、学校教育の本丸だという意識は校長先生方皆さんが持っておられ、参加をされて、その中で現状分析とこれからどうしていくのかというところをグループに分かれて意見交換をしていただき、私はその中で非常に活発な意見交換がなされたと思っている。十分、その辺りの危機感というものは、承知しておられると受け止めている。

この後、鳥居室長からこれを受けながら、状況を説明していただきたいと思っている。

それから浜田郷土資料館の見学会についてであるが、見学の後に色々なアンケート調査やご意見をいただいております、それをまとめているため、8月の最後の日曜日にもう1回、フリーの見学会を開催して、そこでいただいたご意見をまとめて、公表の用意をしていく。

それを受けて、浜田市でももちろん議論を進めて、議会にもいただいたご意見を報告して、これからどうしますかということにもう一步進んでいきたいと思っている。

宇津委員
岡田教育長
各委員

承知した。
その他はよろしいか。
特になし。

2 議題

(1) 令和4年度教育委員会学校訪問（幼稚園）について（資料1）

日ノ原係長

資料1をご覧ください、教育委員会学校訪問の中の幼稚園の学校訪問についてである。

日程については、先般、ご相談をさせていただいたとおり、10月13日（木）の午前中に3園を訪問したいと思っている。

訪問者については小中学校の学校訪問と同様に、教育長、教育委員方、私の6名で考えている。

訪問内容については、従来どおり園内視察を15分程度行い、続いてヒアリングを35分程度予定している。例年であれば、園から学校経営の様子や園内の様子等をご説明いただき、特に意見交換テーマは設けずに実施をしていたが、昨年度はテーマを定めて、「令和5年度からの幼稚園統合における課題について」意見交換

を実施している。

今年度の意見交換のテーマであるが、いよいよ来年度からの統合が控えており、こちらの課題等について、資料の下段にも記載をしているが、各園個別のものや共通のものについて、説明をしていただいた後に意見交換をしてはどうかということで提案をさせていただくものである。

岡田教育長

特に意見交換のテーマについて、ご審議をよろしく願います。日程については、事前に委員方からご都合を聞かせていただいているため、10月13日の予定で実施したいと思う。

意見交換のテーマについて、委員方からご意見等あれば願います。

各委員

特になし。

岡田教育長

無いようであれば、事務局から提案させていただいた様に、「幼稚園統合における課題等について」を意見交換のテーマとして実施させていただいてもよろしいか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

ありがとうございます。

それでは、この予定どおりに進めていきたいと思う。

(2) 浜田市幼児教育センター条例について（資料2）

松山担当課長

浜田市幼児教育センター条例について説明をさせていただく。

この条例については、来年度から浜田市幼児教育センターを設置することに伴い、制定をするものである。

名称としては、浜田市幼児教育センター、位置は浜田市熱田町820番地1に設置をする。

事業としては、幼児教育の調査及び研究に関する事、幼児教育関係者の研修に関する事、幼児教育関係者の相談及び支援に関する事、幼児教育の情報の収集及び提供に関する事、その他浜田市教育委員会が必要と認める事業の5項目を事業として掲げさせていただいている。

職員としては、所長その他必要な職員を置くということで、提案させていただければと思う。よろしく願います。

岡田教育長

ただいまの浜田市幼児教育センター条例に関して、委員方からご質問等あれば願います。

これまで事業内容等は、統合幼稚園の検討の中でも十分議論をしていただいたと思うため、この様に提案説明を行っていきたい

宇津委員	<p>と思う。</p> <p>以前の資料もそうであるが、議会との関係で、これからどういう運びで議会を通過させるのか、その辺りの予定が分かれば教えていただきたい。</p>
岡田教育長	<p>全般的に条例や規則について、今回の議題に挙がっているため、今後のスケジュールや流れについて説明をお願いします。</p>
猪木迫担当部長	<p>9月議会で浜田市幼児教育センター条例と幼稚園条例を提案する。承認されれば、来年度に向けて準備を進めていく。規則については、議会関係なしに教育長決裁をとって併せて進めていく。</p>
岡田教育長	<p>議会に諮る前に、教育委員会として承諾をお願いしたいということか。</p>
猪木迫担当部長	<p>はい。この内容で9月議会に提案するということでよろしいでしょうかということである。</p>
日ノ原係長	<p>昨年度も9月議会に出して、規則についてはこの場で決定いただいた後に、公布は条例と同じタイミングで規則についても行いたいと考えている。</p>
岡田教育長	<p>ただいまの浜田市幼児教育センター条例に関しては、この内容で議会に提案をさせていただいてもよろしいか。</p>
各委員	<p>全会一致で承認</p>
岡田教育長	<p>ありがとうございました。</p>

(3) 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について（資料3）

松山担当課長	<p>資料3、提案条例説明資料をご覧ください、内容としては、原井幼稚園、石見幼稚園、長浜幼稚園、美川幼稚園の4園を統合して、新たに浜田幼稚園を設置するための改正である。</p> <p>こちらについては、浜田市立幼稚園条例の第3条に幼稚園の名称及び位置を規定しており、その部分について、これまでの4園を削り、新たに浜田市立浜田幼稚園として、浜田市熱田町820番地1に設置する内容である。</p> <p>施行についても、令和5年4月1日からということで、浜田市幼児教育センター条例と同じである。以上である。</p>
岡田教育長	<p>現在の条例の改正ということで、統合となる幼稚園、全てが統合して新しい園になる。そのため、現在の幼稚園を削って、新園「浜田幼稚園」ということで加えていく内容である。</p> <p>また、この条例は管理規則に定めている定員や学級数とも関連があるということで、備考欄に記載をしている。</p>

各委員
岡田教育長

それでは、この内容で提案させていただいてもよろしいか。
全会一致で承認
ありがとうございました。

(4) 浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について (資料 4)

松山担当課長

資料 4、新規・改正規程概要説明資料にて説明をさせていただく。
先ほどの幼稚園条例と同様に、4 園を閉園し、新しく浜田幼稚園を設置することに伴い、必要となる改正を行うものである。
まず、定員及び学級数については、これまで園ごとに定員及び学級数を定めていたが、浜田幼稚園については定員 60 人、学級数は 3 学級として定めさせていただく。
それから、1 学級当たりの定員について、これまで満 5 歳児と満 4 歳児は 35 人、満 3 歳児は 20 人としていたが、今後については全年齢共通とし、20 人と設定させていただいている。
米印のところをご覧ください、但し書きとして混合学級の編成基準を載せている。こちらについても、満 5 歳及び満 4 歳の幼児の合計人数が 20 人以下の場合は、満 5 歳及び満 4 歳の混合学級、それから満 5 歳、満 4 歳及び満 3 歳の幼児の合計人数が 10 人以下の場合は、3 年齢の混合学級となる。このことについても、規則で定めさせていただいている。
それから最後に、幼児通級教室の設置について、同じく管理規則に定めさせていただき、施行期日についても同じ様に、令和 5 年 4 月 1 日ということを設定している。以上である。

岡田教育長

それでは現在の管理規則の一部改正について、ご意見等あれば願います。

各委員

特になし。

岡田教育長

それでは、原案のとおり承認をいただけるということによろしいか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

ありがとうございました。

(5) 浜田市社会教育委員の選任について (資料 5)

永田担当課長

資料 5 をご覧ください、浜田市社会教育委員の選任についてである。説明に入る前に、事前に委員方に送付させていただいた資料であるが、選任中としていた方の名前が間違っていた。大変申し訳ございません。以後、気をつけたいと思う。

6月29日開催の教育委員会定例会の中で、11番の旭地域枠の委員については選任中ということであったため、11番の委員を除いた方々で承認をいただいているところであるが、このたび選任されたため、今回改めて承認をいただきたいと思う。

11番、旭地域の藤本宏征さんに令和4年度・5年度の浜田市社会教育委員として委嘱したいと考えており、委員方から承認をいただきたいと思う。

藤本さんの所属としては、放課後子ども教室の放課後支援員として、現在、パソコン教室等々でご活躍していただいている方である。よろしく願います。

岡田教育長

選任中となっていた浜田市社会教育委員の1名であるが、藤本宏征さんに委嘱をさせていただくということによろしいか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

ありがとうございました。

宇津委員

その上で、基準が(1)から(3)の3つが示してあるが、名簿の中の基準を見ると、(1)と(2)に当てはまる方しかいない。(3)の方がいないが、バランス的にこれから先、考えられるのであればご検討いただければと思う。

永田担当課長

基準については要綱で定めているが、一応この3つの基準の中で、(3)学識経験のある者というところで、なかなか難しいところではあるが、今回いただいたご意見を参考に、学識経験のある方に是非入っていただく様なかたちで探してみたいと思う。ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

草刈課長

令和4年度 一般会計補正予算(第5号)説明資料(資料6)

教育長報告でも話があったが、8月17日の浜田市議会臨時会議において、提案、議案として提出された令和4年度の一般会計補正予算(第5号)について、原案のとおり可決された。この資料については、こちらの説明資料の抜粋である。1ページ目の編成概要の中にも記載されているが、今回の補正予算については、原油価格・物価高騰対策、それから地域経済活性化対策として取り組むための事業費である。

それから、ふるさと体験村に係る屋外トイレ改修経費等について調整を行うものが主な内容となっている。

予算規模については、補正額が339,435千円ということで、

補正後が 40,213,896 千円である。

補正事項について、下段に記載しているが、それは後ほどのページのところで説明させていただく。

下にページ番号を付けているが、4 ページのところが教育部である。教育部については、8 番の原油価格・物価高騰対策事業（学校給食費）ということで、内容については学校給食において、昨今の物価の高騰によって食材費が上がっているということで、そのまま今の給食費を変えなければ、質、それから量に支障が生じる。一方、保護者の方に給食費の上昇分を転嫁するかのどちらかということになるが、国から質と量、栄養については維持をなささいということで、国の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を充当して、それを支援するのは構わないということであるため、それを受けて浜田市において 19,400 千円を先ほどの交付金を充当し、保護者に負担を転嫁することなく、給食の品質、量、栄養を維持するものである。

次のページに内容が記載されている。④内容の中に、令和 2 年度の 4 月から 3 月までの年間の一食当たりの食材費と今年度 4 月から 6 月までの食材費について比べて、上昇率が 5.7%であった。今後、秋からまた上がるという話もあるため、どの程度上がるかは分からないが、年間延べで 8%上昇すると見込んで、その差額分について積算し、今回、支援を行うということにしている。

⑤その他の中の参考のところ、表の右側のところに 8%上昇した場合の年間ベースの金額が記載されている。一番右側には保護者の負担額（年額）が 4,551 円とか 5,339 円等記載しているが、本来転嫁すれば、その金額が保護者の方に負担をお願いしなければならないところを、負担を転嫁することなく実施するというかたちで、今回、学校給食費に対する支援の経費を計上したという内容のものである。資料 6 については以上である。

ただいまの説明について、ご質問等あれば願います。
特になし。

岡田教育長
各委員

草刈課長

行事等予定表（資料 7）

期間については、8 月 22 日から 9 月 30 日である。委員方に出席をお願いしているものについては、丸印を付けている。

9月7日の令和4年度少年の主張浜田市大会については、委員方には案内が届いているかと思うが、審査員として宇津委員にお願いをして、内諾をいただいていると聞いている。

それから、9月26日が次回の教育委員会定例会である。

それから、9月28日は丸印を付けていないが、例年行われている浜田市中学校駅伝競走大会が開催される。今回は来賓を呼ばないというかたちで開催されるが、受付さえしてもらえれば見ることができるという昨年と同じ状況になると聞いている。

その他については、お手元にあるとおりである。資料7については以上である。

岡田教育長

9月7日であるが、ちょうど議会の個人一般質問の日にあっており、私が少年の主張浜田市大会に出席することができない。また、宇津委員には審査員としてお願いしたいと思っている。他の委員方についても、子どもたちの主張を聞く貴重な機会だと思うため、是非ご出席をお願いしたいと思う。

この件について、ご質問等あればお願いします。

杉野本委員

少年の主張浜田市大会については、校長会長から例年は出席をお願いしていたが、お知らせのみとさせていただくと案内が届いているが。

岡田教育長

この件について、私は参加希望があれば、委員方については参加できると思っていたため、改めて確認をさせていただく。

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

日ノ原係長

中学校部活動における全国大会出場について（資料8）

資料8をご覧ください、今回、3種目について、中学生の部活動における全国大会出場が決まった。

まず、1点目が陸上競技である。出場者は第一中学校の中野花美さん、種目は走り幅跳びである。8月18日から21日のところで全国大会が開催され、結果については記録が5m38cmということで決勝にも進出し、第8位に入賞された。全国大会でも活躍されている。

続いて、柔道である。出場者は第三中学校の大田和奈さん、種目は女子個人63kg級である。こちらについては、本日から全国大会が始まっている。

続いて裏面をご覧ください、ソフトテニスである。出場者は

岡田教育長

第一中学校の男子団体ということで、県大会 1 位、中国大会 1 位で、全国大会に出場している。全国大会の結果であるが、1 回戦はシードで、2 回戦は埼玉県の関東代表の上青木中学校と対戦し、結果は惜しくも敗退となった。ちなみにこの対戦相手である上青木中学校が優勝し、全国優勝したチームに敗退したということである。私からは以上である。

この件について、ご質問等あれば願います。

優勝校に善戦したということで、甲子園出場の浜田高校の対戦相手も気になるところだが、今日決勝なのでどうなるか分からないが、浜田高校も少なくとも準優勝以上の学校と戦って善戦している。

今年は小学校から高校まで、非常に児童生徒がスポーツでも文化でも頑張ってくれていると感じている。参考までに浜田高校の自然科学部の生物の関係の研究で全国に進んだ生徒が、今、ベスト 20 に入っていて、次は決勝グループで改めてプレゼンテーションをして、その段階に進まれたということを知っている。非常に活躍されていて、大変嬉しく思っている。

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

鳥居室長

令和 4 年度全国学力・学習状況調査結果（概要）について（資料 9）

資料 9 をご覧いただき、1 ページ目のところに、各教科の平均正答率を出している。理科については、前回の調査を平成 30 年度に実施しており、差については平成 30 年度と比較しているため、昨年度の調査との比較ではないということをご承知いただければと思う。

資料 9 は総務文教委員会に提出している資料であるが、この資料で見ていくよりも、臨時校長会で活用した資料の方がグラフ等々も大きいため、資料 10 をご覧いただきながら、説明をさせていただければと思う。

浜田市臨時校長会（資料 10）

資料 10 をご覧いただき、スライド番号が右下に振ってあり、資料 10 の最初のページには、1 ページ目と 2 ページ目というように見ていただければと思う。

1、2のスライドについてはおいていただき、3のスライドは後ほど説明させていただくが、少し省略をさせていただきたい。

今回、臨時校長会を開かせていただいた主な理由であるが、もちろん平均正答率のこともあるが、我々が本当に危機感を持ったのは、スライド4、「はじめに」というタイトルのところである。校長先生方への学校質問紙の中で、「授業中私語が少なく、落ち着いていると思いますか」という質問に対して、左側が小学校、右側が中学校で、上から浜田、島根、全国、その下に経年で平成30年度から調査があった年ごとに表している。

小学校の令和4年度であるが、肯定的回答が青色と緑色で示しているが、一気に減っている。それから、平成30年度から見ても減ってきているということが見て取れる。

中学校については、逆の傾向が見て取れる。中学校は大体、改善傾向にある。

後ほど述べるが、授業改善の状況についても小学校は年々落ちており、進んでない状況が見える。それに対して中学校は年々改善が進んでいる傾向がある。点数的にも、平均正答率もそれと同じであることから、これは放っておけないということで、校長先生方にもう一度本気になって、学校経営、学級づくり、そういったところも含めて、学力向上対策について、見直してもらわないといけないということで、臨時校長会を開かせてもらっている。

先ほど、宇津委員から校長先生方の意識はどうかという話があったが、各学校は自分の学校の平均正答率と島根県と全国が見ることができる。浜田市の平均正答率等々は分からない。この話があった時に、多くの校長先生方が相当まずいらしいと思われたという話は、校長会長からも聞いている。危機意識を持ちながら見られたものと思う。

当日、説明すると非常に長い時間が必要になるため、説明時間を短縮するため、事前にこれと同じスライドの資料を校長先生方にお配りをして、あらかじめ目を通していただき、自分なりの考えを持って参加してくださいとお伝えして、参加していただいている。

校長会の資料を使いながら、今回の概要について説明したいと思う。スライドの5、6が、平均正答率について出したもの

である。

まず、上段のスライド5は小学校の平均正答率であるが、前回調査よりも県との差が明らかについている。ただし、救いなのは、国との差が開かずに現状維持をしたというところは、救いだったかなと思っている。

スライド6の中学校については、県との差も詰めてきている。そして、全国との差も詰めており、改善傾向にあるということは言えると思う。国語については、全国平均正答率と並んだということで、喜ばしいかなと思っているところである。

続いて、スライド7と8をご覧ください、これが県との差の平均正答率の推移である。上の表が小学校、下の表が中学校である。先ほど申し上げたとおり、近年、小学校は下降傾向で中学校は改善傾向にあるということが見て取れる。

隣のページのスライド9では、問題形式別の県との差を表している。左側の表が昨年度の県との差で、右側が今年度の状況である。今まで記述式について、大きな課題があると思っていた、もちろん課題はあるが、今年度の傾向として記述式、ここが確実に弱いというところは、特徴としては見て取れなくなったのかなと思っている。別の言い方をすると、若干その辺りができるようになってきている。

ただし、小学校については、非常にマイナスのポイントが大きいと分かるため、小学校については、どの問題形式についても弱いというところだと思う。

スライド10をご覧ください、これは今のままの授業スタイルではだめではないかということをもとに提案するため、算数のみ、正答率分布を出している。上側の2つの表で、左側が小学校、右側が中学校の市の平均正答率である。当然上位層が少ないのは見て取れるが、解答率を引き上げなければならないということも見て取れる。それぞれの学校で、こういう傾向が一般的な傾向に近い山型になっていくが、学校別に見ると、かなりまずさが見えてくる。下側がある小学校の算数、右側が同じ中学校区の中学校の数学の状況である。このまま、ある意味、一斉指導を行っても、もう対応できない分布ではないかと、この前お話をさせていただいている。この状態のまま一斉指導をすると、下位正答率層の子が、少し高度なことに挑まなければいけなくなってくるため、なかなか苦しいところである。

上位の児童生徒は、おもしろくない。もっともっと能力的な高いところでやりたいのに、合わせられてやっていかなければならない。そうすると、ますます算数、数学嫌いの子どもをつくることになる。2クラスある学級については、時間割を同じにしておけば、習熟度ができるはずであるため、そういった工夫もしっかり行い、低正答率層の子が分かった、できたと本当に充実感が味わえるようにしなければならない。

それから、高正答率層の児童生徒が、難しい問題にチャレンジして楽しかったと思える授業をしていかなければならないと少し強めに言わせていただいている。

次のページをご覧ください、これから小学校の国語、中学校の国語も同様に、算数、数学、理科ということで、スライドの表を2つ作成しているが、上側は県との差で特徴を見るために、県平均正答率との比較で上位3問、あるいは下位3問にまとめている。

下側の表は、単純に浜田市の中で正答率が高かったものから3問、最も低かったものから3問を出している。詳しいことを述べると少し時間が長くなるため、省略させていただくが、先ほどの記述式の話の中で上位の問題に結構記述式が入ってきている。当然、思考判断とか記述のところでは下位のところもあるが、上位のところに入ってきたということで改善傾向は認められるだろうと思う。

スライド14を見ていただくと良く分かると思うが、中学校の国語の正答率の下位3設問である。ここに赤で丸があるのが知識・技能を問う問題である。同時に思考判断のところも問題の中に含まれているが、今まで基礎的な知識・技能について浜田市は強かったが、若干陰りが見られる。よくよく見ていくと、単純な知識・理解ではなく、意味についてまで分かっているのかとか、それを基に考える材料として使われているのかというところに弱さがあると見て取れた。

続いて、スライド15、16をご覧ください、これから後にも続くが、それぞれの教科における意識調査、ここでは国語の勉強の仕方についての意識調査で、「国語の勉強は好きですか」、「国語の授業の内容はよく分かりますか」という回答率の状況である。

1枚捲っていただき、右側のスライド21、22のところ、算

数・数学の意識調査の状況である。「算数・数学の勉強は好きですか」、「算数・数学の授業の内容はよく分かりますか」という回答率の状況である。数学に弱みはあるが、でも好きだという生徒が中学校では増えてきている。よく分かると回答している生徒も経年で見ると増えてきているところが救いなのかなと思っている。

1枚捲っていただき、これも意識調査の状況であるが、中学校については、やはり改善傾向が認められると感じる。

続いて、理科である。スライド27から正答率を挙げている。ここが上と下で分けることができなかつたため、1つのスライドに1つの表しか入っていないが、やはり同じ様に県との比較と浜田市の中の単純な上位、下位というところを出している。

細かいところは置いておくと、スライド33、34を見ていただきたい。中学校で、例えばスライド33のところ、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」という設問がある。これは経年でも伸びているが、県や全国と比べても、ここはポイントが高い。中学校においては、観察実験は理科の命のところであるが、ここがしっかり行われてきている。だから左側のページで、「理科の勉強は好きですか」という設問では、「好きです」という子どもたちが多く、頷ける結果が出ていると思う。

1枚捲っていただき、スライド35、36のところ、文部科学省が今回の調査結果から、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」として報告があったため、それに併せて分析をしている。

先ほど、小学校の授業改善が進んでいない、中学校は授業改善が進みつつあると話をしたが、これからのスライドを見ていただくと一目瞭然だと思う。小学校は全て左側へ矢印が傾いているが、中学校はおおむね右側に傾いている。これはスライド37、38についても言えることである。スライドが続くが、全て同じ様な傾向を示している。

最後に、スライド45、46を見ていただければと思う。いわゆる家庭学習の状況である。「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という設問に対して、小学校は左に矢印が向いているが、中学校は若干ではあるが右に向き始めている。

それから学習時間で、「学校の授業時間以外に、普段、1日当

たり1時間以上、勉強していますか」という設問に対して、残念ながら小学校6年生と中学校3年生の約半数しか1時間以上の勉強をしていない。明らかに問題であると思っている。

ただし、次のページのスライド47を見ていただくと、右側の中学校では、「普段、1日当たり2時間以上、テレビゲームをしますか」という割合については、昨年度よりは改善が見られているということで、若干嬉しい兆しが見られる。

自分で計画を立てて勉強するとか、メディア等々のところについて、力を重点として入れていきたいと思いますと共通理解をして、実際に計画を立ててやり始めたのが今年度の4月からであり、調査結果は4月19日の学力調査であったため、その結果は十分反映していないと思う。次の12月の県学力調査では期待したいと思っている。

臨時校長会で使用した資料を基にして、概要を説明させてもらった。今後の対応についてであるが、今までどおり取り組んでいる「子どもの声でつくる授業」に基づいた授業改善を進めていくことを続けていく。理数教育についても、そうである。

本日、IPU 環太平洋大学の前田先生がちょうど浜田へ来られていて、午前中は長浜小学校、午後は周布小学校で研修会をしておられるが、そういったところをしっかりと校長会等々のところで助言を広げたりしながら、取り組んでいきたいと思っている。

9月の校長会のところで、8月の臨時校長会の中でグループ協議をしていただいた結果をまとめているため、それを基に、もう一度、各校長先生方に具体的な戦略を立ててくださいますとお伝えする。学級づくりが大切ということも分かるが、学級づくりを推進するため、具体的に学校が何をするのか。いつまでに何をするのか。そういったところを少し詰めていきたいと思っている。この内容については、9月の教育委員会定例会でお示しできたらと思っている。以上である。

ありがとうございました。

委員方におかれても、非常に関心の深い内容であったと思う。これまでも、学力テストの分析をしてきているが、今回、意識調査と比較をする中で、学校の管理職の方々の意識を深く掘り下げていくと、授業中に私語が多いと感じている割合が増えてきている。あるいは、子どもたちが主体的で探求的な学び

岡田教育長

が本当に進んでいるだろうか。そういった授業改善ができてい
るだろうか。ということに対して、肯定的でない意見が増えて
きている。そうした現状を懸念して、今回、臨時校長会を開い
ている。内容分析については、先ほど室長から報告があったと
おりである。

今、説明があった点について、ご質問等があれば願います。

9月の校長会で具体的に何をしようかということを決めてい
く機会を設けたいと思っている。その結果を改めて、教育委員
会定例会で報告をさせていただきたいと思う。

宇津委員

分析するのは非常に大変であると思うが、おそらく、県下多
くの市町村教委があるわけだが、ここまで分析をして方向性を
示す教育委員会は、なかなか少ない気がしている。それを受け
て、やっぱり現場の校長先生方がこれを基に具体的に活かして
いくことが必要であると思う。自分の学校の状況と照らし合わ
せながら、具体という部分が出てこないとまずいかなという気
がする。本当に活かすことにならないと思う。

それから、全体会のところで教育委員会に対する要望みたい
なものがあれば、という記述があったが、これは意見として出
てきて終わりなのか。

鳥居室長

こちらで予測していたのは、生徒指導等の支援をもう少し具
体的なものにしてほしいとか、方向性を示してほしい等、その
辺りが要望として出てくるかなと思っていたが、出なかった。

この報告そのものについての要望はなかったが、理数教育に
ついての今後の方向性を説明した際に、いくつか要望が出てい
る。「子どもたちに夢を持たせる」そういったことが大切であ
り、そういうことも予定して予算を取ろうと思っていたが、特
色ある教育活動の予算が今年から無くなり、それができなくな
った。こういうところにもう少し予算を確保してほしいとい
う、予算に関する要望が多かった。

理科の実験道具とか色々買い揃えていく部分、理科振興の
関係であるが、理科振興の予算化を確実にしてほしい。確実に
各学校に配分できるようにしてくださいということで、そこが
観察実験をする上での一番のポイントである。ある校長先生
が、非常に古い顕微鏡を使っているが見えませんというような
話をされたが、そういうところであるとか、実験準備に非常に
手間がかかるが、昔はスコットといったが、そういう補助員制

岡田教育長
杉野本委員

度が取れないだろうか、いわゆるスクールサポーターが携わるようなことができないかということとか、放課後に授業を補充したいが、スクールバスの関係でなかなか難しく、もう少しスクールバスの柔軟な運用ができないものか、というような要望が出されている。以上である。

その他はよろしいか。

宇津委員もおっしゃられたが、非常に丁寧に分析をされていて、特に小学校は危機感を持たれたのではないかと思う。やはり経年比較は、非常に大事であると思う。今、大部分の学校で管理職が短期間で変わっている状況があるため、以前の資料を調べ直して、数字上ではあるが、うちの学校はどちらの方向に向いているのかという意識がずいぶん出てきているんじゃないかという中で、浜田市全体のこういった動きを示されることで、うちの学校はどうなのかというのが見られれば、1つのモデルにもなれるかなと思う。そういった意識が先生方に出てきて、今後に繋がっていけばいいなと思う。ありがとうございました。

岡田教育長

ありがとうございました。

各委員

その他はよろしいか。

岡田教育長

特になし。

この続きについては、次回の定例会でも話があると思う。

田中課長

市内小中学校における全国大会出場について（資料 11）

資料 11 をご覧いただき、市内の小中学生の全国大会出場についてまとめている。7 つの種目で、選手の人数としては 38 名、詳細はご覧のとおりである。

おおむね、ほとんどの競技で既に試合が終わっている。

結果としては、ほとんどの種目において、1 試合目あるいは 2 試合目に敗退という結果であったが、冒頭、教育長から報告があった様に、陸上競技の中で新田朋華さんが全国 4 位という好成績を収められている。

同じく、陸上競技に出場されている小学 6 年生男子、竹村比呂さんであるが、全体で 46 名中の 41 位ということで、順位としては振るわなかったが、記録では県の予選の時から大きく数字を伸ばしておられ、やはり、大きな大会に向かって準備をしていくことや大きな大会に出場することが、大きく成長を促し

岡田教育長
各委員

ていくということが改めて実感できたと思う。今後についても、全国大会出場に向けての支援を文化スポーツ課としても続けていきたいと考えている。報告は以上である。

この件について、ご質問等あればお願いします。

特になし。

4 その他

(1) その他

岡田教育長
日ノ原係長
岡田教育長
各委員

事務局からその他何かあるか。

特になし。

その他のところで、委員方からご報告やご質問があればお願いします。

特になし。

次回定例会日程

定例会 9月26日(月) 13時30分から 浜田市役所本庁4階講堂AB

次々回定例会日程

定例会 10月27日(木) 13時30分から 浜田市役所本庁4階講堂AB

14:37 終了